

パーミッション

- ▶ パーミッション：ファイルにアクセスする権限
- ▶ パーミッションの設定：誰に，何を
 - 所有者，グループ，それ以外
 - 読む，書く，実行

パーミッションとは

ファイルにアクセスする権限

- ▶ 全てのファイルに設定される
(ディレクトリにも設定される)

権限の種類は3つ

- ▶ ファイルを読む
- ▶ ファイルを書き換える
- ▶ ファイルを実行する

パーミッションの必要性

Unix = マルチユーザ環境

- ▶ 複数の人が1台の計算機を使う

利用権限 (パーミッション) をしかるべく設定することは、ユーザの責任

- ▶ 見られて困るものは見られないようにする
- ▶ 意図しない事故を防ぐ
- ▶ などなど

パーミッションの設定

誰に許可するか

- ▶ 所有者 (User)
- ▶ 所有グループ (Group)
- ▶ その他 (Other)

何を許可するか

- ▶ 読むことを許可 (Read)
- ▶ 書き換えることを許可 (Write)
- ▶ 実行することを許可 (eXecute)

所有グループ

複数のユーザを束ねて管理する単位

- ▶ 共同作業をするときに所有グループを設定したりする
- ▶ 指定しなければ、所有グループは所有者と一致

ファイルモード

モード：誰にどのような許可が出されているのか

```
$ ls -l
```

```
drwxrwxrwx 1 george george 600 Sep 12 2020 tak
```

モード 所有者 グループ

モードの読み方

- ▶ 1文字目はファイルの種類
- ▶ 2～10文字目は、3文字ずつ、所有者(u), グループ(g), それ以外(o), の権限
- ▶ r 読み出し許可, w 書き換え許可, x 実行許可
- 不許可

ファイルモードの変更 chmod

```
$ chmod o+r tako
```

```
$ chmod g-w ika
```

```
$ chmod ugo+r uni
```

オプションの意味

- ▶ 誰に u 所有者, g グループ, o それ以外
- ▶ 権限 + 許可, - 不許可
- ▶ 何を r 読む, w 書く, x 実行